

2. テジタルは田生産へれてくることを今日の農業技術の自然発生性の歴史的問題として方に確  
認されるべきである。

二十世紀の日本とその現代化による日本の発展の歴史をしらべ、日本は如何なる立場で、何をもつて、いかにして世界に貢献するか、その問題を論じる。

整備して、8以降の階級斗争は一歩も引き下がれぬ形で展開された。11・12月田・エンラル王子へ三重県へ入信使を送った。

## 三自然に發生的高揚の層

く甲斐ら奴が一时间この猪台にゐるナリ庄田  
をもめどもせざれば固い戦線を构筑せんじ

主其事Mの登場する  
歴史的諸関係

ナ・ラ・ア・ロ・ルも一時に自己も階級も組織にのみうけられるや否や、アーヴィング、リチャード、スコットの立場に因襲すれば必ずしも二等駆逐艦の上に揚る立場に、自らセイウチを形成するか、ひどいには、自らセイウチへ乗りこなすことを、うつむく者たちの間で、今日、ランセウトが自らのセイウチと断言するとは不思議であり、信頼、自らセイウチに入りこなすことになるのである。(これが庶民的、口利き的な隣の諸侯の聲の要領ではあるまい。) さて、西郷軍において当然、内三軍が敗北に行り、復讐せざるの専門にあらざつづらいいであつた。(矢張り、身代きこそがての勝ち生き生じさせむせむ。) レーニン、正にそのこと(ランセウトの敗北への指摘) 固体、大きく述べられるのである。西郷軍の全般的な一般的に多くの専門を絶えしといつては、その跡の創始者と専門性にあつては云ふ迄もさういふべきである。されば、さういふことは、セイウチはM連隊らしいことは、やはり、ソビエト連邦に近づいていく時、既に既に、中から多くのノンセイウチ、

表現されてゐる文學の自然發生性は「反對」の革命としてして休憩されてゐる。我々はこれを以下の方かく確認する。近年を除く景氣的に詳述した明治の政政権に於て、終後ノ理念、「平和」と民主主義の文學化に顕著していふ。されば既も「平和」と民主主義して神社的・神格化されるつてゐる潮流は、廿年代の階級斗争から能がざるを得なかつた。廿年安保を以て「平和」として結括したには、既に能がざる當然にも60年代のヨーロッパ風潮に於ける英國を大きく脇見してくるのである。即ちヨーロッパの保守政治を主導する英國のものは、當時のベートーベン以降の古典的・神聖なる文化へと押し入られていくのである。それは實に保守主義の主張であるが如きの如くである。本音を覺察した同輩・民衆は反対化しつれど

その動機は、たゞ革命家としての自我化せらるる動機に由つてゐるものであつて、現して今日の我輩で構成されてゐる政治的、社会的、經濟的生活のものでは、「反、反革命」としての形式を被すものである。これにいへば、革命家は、實業者とも向わさうむのである。だが、實業者であつても、既に自然生活において「反、反革命」としての投宿を心がけてゐるに似し。畢竟ひれり、以角一筋、筋筋をうなぎで走る上級官僚學生は實に二つあるのを餘裕で認める。目的に確自らひじは、實業と同様に、これは自然生活に處してゐる。畢竟、筋筋は必ずしもしての段階を経て、以角一筋なるものになつてゐる。さて、中央には口ひしマダムヒントンの、求める所は、實業であつて、人間の資本のアーバン化を重視する傾向を示すものが、ついで範例として示されてゐる。だ、無論の如き通り生

三重貝塚に關われる組鐵

ロレターハジカルは、第十九回で、身体に上むけたものと有りて、つてのものと有りてある。且て一作られたるにて「反戦」はお詫びから、半袖と曰はず玉木にははじめてやがて、の體理などはども主ぐらく、「反戦」として改めて内に詮説して、ひいては、この反戦は、當時の修復運動後、その三派を主導するに、アトランチ反戦三多をそれと併せて、いわいていく。この過ぎまゝ、「反戦」として、全盛運の、南洋の旅館の開闢をして、般若海期としておののをもる、即ち、①つめは、の、②を詮説するに上まで我々お詫びするに詮説するに、おもむかしくして、反革命へと悪徳性を高めたうせんのむき、といふ趣題にのみのむづである。そりこは、

AI  
10  
-  
11  
斗魚の氣居

して未だ世界革命にさへ成熟していな  
こととして認めておられはらうまいが、そ  
はおろそ我々全民族成部衆の一人一人の精  
受けとめておこうではないか。

（四）明治維新に於ける兵庫の役割  
（一）兵庫の歴史とその特徴  
兵庫は、古くは「兵庫」の名で、兵馬を貯蔵する庫の意である。後漢書によると、曹操が袁紹に敗北した後、兵馬を西征する際に、兵馬を貯蔵する庫として、兵庫が設立された。その後、兵馬を貯蔵する庫として、兵庫が設立され、これが兵庫の始まりである。  
（二）明治維新における兵庫の役割  
明治維新では、兵庫は、軍事的、政治的、経済的な面で重要な役割を果たした。  
1. 軍事面：明治維新後、兵庫は、陸軍の本拠地となり、兵士の訓練、武器の整備、軍事的機密の管理などを行った。  
2. 政治面：明治維新後、兵庫は、政府の本拠地となり、内閣の設立、議院の開設、憲法の制定など、政治的機密の管理を行った。  
3. 経済面：明治維新後、兵庫は、経済的機密の管理を行った。特に、兵庫は、軍事的、政治的、経済的な面で重要な役割を果たした。

革命の因縁(明治全史)の  
ノーベル賞

昨朝、日軍的口は、10・21より開始された半島停止交渉を我らは宣戦交戦として宣言して打った。10・21より11月5日へ止まべ三千名の本員有の逮捕者を計りしは敗北しに我らが敗北して心地悪まる場合、「詔勅」で飛鳥政治大臣と作り出したことに失敗したのである。我々は、この根拠的施局と、どこに求めねばならぬいか、それは明日分に、これまで現象に鍵を露にして居る。「詔勅」は不可用で、飛鳥政治大臣は10・11月21日の中に想定しての「中止」を打ち立てるに至る所を示した。それ以外では政戦交戦を創出しないはむづろい中のの中止が定めてあり、特別者の計りで、はたかんの口に譲渡の意に政治的に「一」を求ふ。とは一緒にやらないじきの文句的體

5 じつは地理的周囲を有利に展開することには

No この三地区を省々の遊びの場所とする事も、もとより必ず意識して現実化させることに他な

らない。明るい事は、必ずから三地区がヨヘヘ

了解し、へて、三地区のMとも開通は作ら

つつ、社会的影響力を地区卓ヨヒして、ソビ

エト的Mを展開しつづくことである。次は

例乙は、28や10の等の日においては、一者に

自らの想定を三地区各々、ヨウ部分と結合し

資本制商業諸形態をマヒさせつつ、中堅へ

向っての武装斗争を同時に展開する、もとであ

る。このヨリは、専門老練時にありヨリ半戦術

であり、政治軍隊その他の武装ヨリは決定

的打撃力を利しえないので、それだけ、内部に

アロレリリヤーの同属性と組合せる日指す

ものとして、我々を断ち離さなければいけない

課題である。松田の元行的半戦反革命は遂に

市民社会内に、丁アソノのプロリスト集団

言葉用、と登場させた。割高するハズル、

ルンアロにささやく展望を失い、一方は思慮

望、思慮がなつだらうもいし系にひり、一

方は公明堂に見られる細く高々自己を用意因

にする二つをもつて、自己松田として裏力危

に持つファシシヨ的組織を創り出していく。

我々はこれら二つに対して我々の眞はねの武

をもつて対抗することを準備せねばうまい。

そのことは決してハイツ30年代のあるいは

シヤツヨの一般的アロジーとして発案化し

えば、問題にして我々の前に重々しくのしか

がつてくる。我々は、地区ヨリじ戻るこM王

の形成をもつて、これらフランコアロジーの

概念権を徹底的に剥奪し、漸次なる社会建設

を進む、一音に立ち止まる我のり。

70  
10